

## JOMF 派遣医師便り (2013. 11)

### ◆マニラ◆

#### 生命にかかわるか? “小児の心電図異常”

マニラ日本人会診療所

菊地宏久

学校健診の結果「心電図異常」の通知を持って来られる患者さんが多くおられます。ほとんどは小児特有の juvenile T wave pattern や右室心負荷の所見ですが、時には精密検査が必要な場合もあります。今回は小児の心電図異常について述べます。

心電図とはそもそも何なのでしょう。心臓は電気活動によって一日に 10 万回拍動し血液を全身に絶え間なく送っています。この電氣的活動が正常に行われているかどうかを調べる手がかりとなるのが心電図です。

心臓が停止すれば生命も絶えてしまいます。この心臓に構造的異常や機能的異常が生じると心電図にも異常が出てきます。

小児に対する心電図検査は不整脈の診断、川崎病による冠動脈疾患、心筋梗塞などの虚血性心疾患、心筋の炎症、先天性の心臓疾患、甲状腺疾患、電解質異常、肺の病気などの検索にも大きな威力を発揮します。

小児で心電図異常を指摘された方の多くは juvenile T wave pattern と呼ばれる変化、生理的右心負荷、頻脈など成長過程における生理的変化であることがほとんどです。しかし成人の心電図異常の場合のように精密検査をアドバイスする場合があります。器質的心疾患を疑った場合にはまず心臓超音波検査を、不整脈の精査は 24 時間心電図や負荷心電図検査をお勧めしています。息切れや動悸、立ちくらみなどの胸部症状を伴えば必ず精密検査を行いましょう。

どうぞお大事にしてください。